

令和元年6月 日

各関係機関の長 様

社会福祉法人広島県福祉事業団
広島県立障害者リハビリテーションセンター
所長 安永裕司
(〒739-0036 東広島市西条町田口 295-3)

令和元年度広島県医療的ケア児等支援者養成研修の実施について（依頼）

広島県福祉事業団では、広島県から「令和元年度広島県医療的ケア児等コーディネーター成研修」の事業委託を受けて、「令和元年度広島県医療的ケア児等支援者養成研修」を実施します。

ついては、貴会の会員へ周知をお願いします。

受講申込みについては、別紙「令和元年度広島県医療的ケア児等支援者養成研修（講義2日間）及びの令和元年度広島県医療的ケア児等コーディネーター養成研修（4日間）受講応募要領」に基づいて申し込み手続きをしてください。

なお、受講者が定員になり次第受付を終了します。

※ この養成研修については、広島県ホームページに掲載しています。

1 研修日時（講義2日間）

1日目 令和元年9月18日（水） 9時15分～17時30分
2日目 令和元年9月19日（木） 9時00分～17時00分

2 研修場所

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号
広島市総合福祉センター 5階ホール（A・B・C）

3 定員 100名

4 添付資料

令和元年度広島県医療的ケア児等支援者養成研修（講義2日間）及びの令和元年度広島県医療的ケア児等コーディネーター養成研修（4日間）受講応募要領

担当 総合相談課
電話 082-425-1455
（担当者 安藤，石川）

令和元年度 広島県医療的ケア児等支援者養成研修（講義2日間）及び広島県医療的ケア児等コーディネーター養成研修（4日間）受講応募要領

1 目的

人工呼吸器を装着している障害児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児や重症心身障害児等（以下「医療的ケア児等」という。）が地域で安心して暮らしていけるよう、医療的ケア児等に対する支援が適切に行える人材を養成することを目的とする。

2 実施主体

主 催：広島県
共 催：広島市
実施機関：広島県立障害者リハビリテーションセンター

3 研修日程・対象者・会場

日 程	研修対象者・定員	会 場
<p>【 講 義 】</p> <p>令和元年 9月18日（水）～ 9月19日（木）</p> <p>【 演 習 】</p> <p>令和元年 9月24日（火）～ 9月25日（水）</p> <p>合計4日間</p> <p>（※ 日程表参照）</p>	<p>① 医療的ケア児等支援者養成研修 （講義2日間） 障害児通所支援所、訪問看護ステーション、居宅支援事業所、保育所、学校等で医療的ケア児等を支援している者。及び今後支援を予定する者他、医療従事者及び障害福祉行政担当者等 【定員100名】</p> <p>② 医療的ケア児等コーディネーター養成研修 （講義2日、演習2日の計4日間） 相談支援専門員、保健師、訪問看護師等で医療的ケア児等の個別支援計画を行っている者で各市町より推薦を受けた者。今後、市町でコーディネーターの役割を担う予定のある保健師等で各市町より推薦を受けた者。 【定員50名】</p> <p>※ この研修でいう「医療的ケア児等コーディネーター」は、医療的ケア児等の支援を総合調整する者をいう。</p>	<p>広島市総合福祉センター5階 ホールABC 〒732-0822 広島市南区松原町5番1</p>

4 受講申込及び受講決定

- ① 広島県医療的ケア児等支援者養成研修（2日間）の受講申込書（別紙2）に記入の上でFAX又はメールにて令和元年7月19日（金）までにご提出ください。受講決定者にはFAX又はメールで通知します。尚、合理的配慮の必要な受講希望者については依頼内容を記載してください。
- ② 広島県医療的ケア児等コーディネーター養成研修
受講希望者は、受講申込書（別紙3）により事業所の所在地の市町へ提出する。
市町から推薦を受けた受講希望者について、受講推薦書（別紙4）を令和元年7月19日（金）までに郵送で提出してください。尚、合理的配慮の必要な受講希望者については依頼内容を記載してください。
受講決定者については、現在、医療的ケア児等に係る業務に従事している者を優先して受講決定し、令和元年7月31日（水）までに決定通知文を送付します。

申込書郵送先

〒739-0036

東広島市西条町田口 295-3

広島県立障害者リハビリテーションセンター 総合相談課 安藤あて

☎ 082-425-1455 FAX 082-420-2281 メール andou0500@hiroshima-wsc.jp

5 受講費用
無 料

6 修了証書
医療的ケア児等コーディネーター養成研修すべての課程を修了した者には、修了証書を交付します。

7 演習課題の事前準備について
演習ではグループワークで医療的ケア児等についての事例検討を行いますので、演習初日には必ず計画案、週間プラン、基本情報（プロフィール等）の事例をご本人及びご家族のご承諾を得た上でご本人が特定できないようにしてコピー8部をご持参ください。
(演習終了後には持ち寄り事例はお返しします。)

8 アクセス
会場 広島市総合福祉センター5階ホール ABC (広島駅より徒歩5分)
〒732-0822 広島市南区松原町5番1 電話 082-264-6400



令和元年度 広島県医療的ケア児等支援者及びコーディネーター養成研修(日程表)

日数	時間(分)	項目	内容	獲得目標	講師	
1日目 (水)	8:45~9:15	受付	8時45分より受付開始			
	9:15~9:30	15	概要説明	研修の概要説明(目的、成果等)を説明	研修のイメージをつかむ	
	9:30~10:30	60	総論	医療的ケア児等のニーズについて コーディネーターに求められる資質と役割 子育て支援としての相談支援	医療的ケア児等コーディネーターとして、どうあるべきか、その視点や地域連携の方法などを学ぶ。	「ときわ呉」 施設責任者 岡崎富男氏
	10:40~12:00	80	医療的ケアの実際	医療的ケア児等に必要な具体的な医療的ケア	医療的ケア児等に対する具体的なイメージを持つ。	広島県立療育支援センターわかば療育園園長 馬渡英夫氏
	12:00~13:00		昼休憩			
	13:00~14:00	60	重症心身障害医学 総論、地域の医療連携等	重症心身障害医療の特徴、代表的な疾患の経過や特性、地域の医療資源の概略等	重症心身障害児の特徴、各疾患によるライフステージやそこに必要な医療的な支援についてイメージする。	広島県立障害者リハビリテーションセンター 若草療育園園長 須藤哲史氏
14:00~16:30	150	在宅支援関連施設の理解	医療型児童発達支援センター	重症心身障害児(者)の在宅支援に関わっている事業所や療育の内容、ライフステージの移行支援についての理解を深める。	広島市こども療育センター二葉園副園長 太田民恵氏 広島県特別支援教育課 総務指導主事 水田弘見氏 重症障害児通所支援「YU~KI」管理者 大久保弘美氏 重症児・者福祉医療施設「鈴が峰」主任相談員 浜名章江氏	
			医療的ケア児の特別支援教育			
			放課後等デイサービス			
			生活介護(成人の通所介護)			
16:30~17:30	60	福祉制度と地域での連携について	医療的ケア児等の計画相談に必要な福祉制度や、関係機関との連携をどう構築していくか。	計画相談に必要な福祉制度・資源の活用や関係機関との連携について学ぶ。	広島県相談支援事業連絡協議会副会長 Bee-Works施設長 森木聡人氏	
2日目 (木)	9:00~10:00	60	乳幼児期における支援の要点	近年の周産期医療の現状と、医療的ケア児のNICUからの移行支援、家族支援の要点について	NICUからの移行支援と地域連携、また家族支援の実際について学ぶ。	県立広島病院 新生児科主任部長 福原里恵氏
	10:10~11:10	60	訪問看護の実際	訪問看護のしくみと、医療的ケア児の支援について	地域生活を支えるための訪問看護の重要性について理解する。	訪問看護ステーション「フレフレ」所長 谷口美紀氏
	11:15~12:00	45	乳幼児に必要な支援者のサポート体制について	当時、広島県で最も小さく生まれたM君が関係者の連携や、療育によってどのように成長したのか、保護者の話から療育の重要性について学ぶ	NICUからの関係機関の連携と早期療育の重要性を理解する。	M君のお母さん
	12:00~13:00		昼休憩			
	13:00~14:00	60	本人・家族の思い、ニーズ、QOL	当事者の思い、ニーズ、また本人・家族のQOLをどのようにとらえるか。	当事者の思い、ニーズを知り、理解を深め、より当事者の意向に沿った計画作成ができる。	広島県重症心身障害児(者)を守る会 「こすまネット」 代表中川史氏
14:00~15:00	60	重症心身障害児の意思決定支援	重症心身障害児(者)のコミュニケーションの特徴やどのように意思決定支援を行うか。	重症心身障害児(者)のコミュニケーションの特徴を知り、意思決定支援をどのように行うかを学ぶことにより、当事者の意思を計画に反映させる。	重症児・者福祉医療施設「原」 心理課長 豪石裕之氏 保育士 入本直行氏	
15:10~17:10	120	医療的ケア児等の支援における計画作成のポイント、社会資源の開発、人材育成。	演習に向けて、計画作成のポイントを学ぶとともに、関係者との連携や社会資源の開発、人材育成について具体的に理解する。	これまでの講義をもとに、医療的ケア児等の支援計画作成に重要なポイントと社会資源開発、人材育成について学ぶ。	社会福祉法人「むそう」 理事長 戸枝陽基氏	
3日目 9月24日 (火)	9:00~17:00	420	演習 計画作成	医療的ケア児等の支援計画作成のために必要な相談支援や、子どもの育ちを応援するためのスキルを学習する。	これまでの講義をもとに、医療的ケア児等の計画作成の重要なポイントを意識し支援計画作成のプロセスを学ぶ。	社会福祉法人「むそう」 理事長戸枝陽基氏 日本訪問看護財団相談 支援専門員西村幸氏 スペースなる代表取締役 役梶原厚子氏 ファシリテーター7名
4日目 9月25日 (水)	9:00~17:00	420	演習 計画作成	事例をもとにした計画作成の演習。グループワークで事例を検討し当事者の意向を反映した計画を作成する。	事例をもとに、ニーズの把握、当事者の意向に沿った計画作成、関係機関との調整などを理解する。	社会福祉法人「むそう」 理事長戸枝陽基氏 日本訪問看護財団相談 支援専門員西村幸氏 スペースなる代表取締役 役梶原厚子氏 ファシリテーター7名
合計	1670					

令和元年度 広島県医療的ケア児等支援者養成研修(講義2日間)
受講申込書

令和元年 月 日	申し込み担当者氏名	
ふりがな	性別	生年月日
受講者氏名	男・女	昭和 平成 年 月 日
受講者の住所 及び連絡先	〒	
	TEL	FAX
	メール	
所属事業所の名称	法人名	
	事業所名	
事業所の住所 及び連絡先	〒	
	TEL	FAX
受講者の従事して いる業務について	事業種別 (サービス種別)	
	職種	
	Q. 医療的ケア児等に関わる業務に ※該当する番号を○で囲む	
	1 現在従事している(従事内容:) 2 従事していない 3 今後従事する予定がある(従事開始予定: 年 月頃)	
受講上の合理的 配慮事項	(車いす使用、介助者同行など具体的にご記入ください)	

※ご記入いただいた個人情報は研修運営のみに使用し、他の目的には使用しません。